伊佐市長

# 隈元　新

# 借境調心（しゃくきょうちょうしん）

明けましておめでとうございます。

新しい年が希望にあふれ、穏やかにスタートしていくことを願っています。平成28年（２０１６年）の干支は十二支の９番目になる申（猿）ですが、他の干支と違って神様を意識するのが「申」です。それは「申」は「神」の由来になったとも言われているからです。また、猿は馬の守護神とも言われ、厩舎には猿が飾られているそうです。60年程前になりますが、母の実家の馬小屋に猿の絵馬があったように記憶しています。「申」・「猿」ともに神様が宿っているようです。

馬に乗り猿の案内で今年をスタートしたいと思います。

今年も三社参りに限らずできるだけ多くの神社を参拝いたしますが、神様のご加護ということは大切なことで、神社仏閣への畏敬の念を持つことは自分と向き合うことにもなります。計画や事業を進める中で決断をしなければならないことがあります。叡智（えいち）を集め、考え抜いた結果としての決断でも、時や環境が整わないこともあります。市民の皆さまの日常生活でもどこかに神様の存在を意識される時があると思います。今年の干支は難儀が「去る」にも通じるようです。人間は幸せになるために生まれてきたのですから、難儀に遭遇した時こそ今年の干支を思い出してください。皆さまの望む道がきっと開けるでしょう。

伊佐市は新しいスタートをしてから今年で８年目になります。川内川が中央を流れ、四方の山々に囲まれた穏やかな皆さまのふるさとです。マスコミなどへの情報発信を積極的に取り組んだり、高校生が活躍するチャンスを数多く演出したり元気なふるさとづくりに邁進しています。住みよさランキング（東洋経済新報社）では今年も３年連続の県内１位が達成できるように施策の充実を図ります。春夏秋冬それぞれに楽しむことができる伊佐市を内外へ発信し、存在感のある地方自治体として、雇用の増大や定住促進など地方創生の計画・実施を市民の皆さまと一緒に進めていきたいと思います。

中国の古典「菜根譚（さいこんたん）」に〝借境調心〟という言葉があります。「外の環境を借りて心の中を整える。外物は往々にして人の心を乱すものだが、環境が心を救ってくれる」という意味だそうで、私の大好きな言葉です。申年生まれの特徴は明朗活発で好奇心旺盛とも言われますが、猿にまつわる慣用語に〝意馬心猿〟という言葉もあります。煩悩や欲望が激しく、心の乱れを抑えきれないことの例えだそうです。謙虚さと強い思いと日々の努力を怠らないためにも、〝借境調心〟を胸に市民の皆さまを私の心を整える環境としたいと思います。皆さまのご多幸をお祈りいたします。

# 年頭のご

伊佐市議会議長
丸田　和時

## 迅速果断

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

わが国におきましては、少子高齢化、人口減少、マイナンバー制度、ＴＰＰ大筋合意、安全保障問題など、さまざまな問題を抱え、大きな改革を迫られております。特にＴＰＰ大筋合意に関しましては、農業に大きなダメージを与えることが心配されますので、政府による手厚い対策が求められます。また、マイナンバー制度につきましては、本年から個人番号カードの発行が始まり、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現が推進されるものと期待し、円滑な導入と適切な運用が望まれます。

伊佐市におきましては、中学校再編により大口中学校、山野中学校、大口南中学校の3校が閉校し、大口中学校跡に新たに大口中央中学校が開校し、順調にスタートしたようで、今後の飛躍発展が望まれます。

8月には近年にない強い台風15号の直撃を受け、市内各地で倒木及び倒木による停電などの被害が発生しました。被害を受けた市民の皆さまに心からお見舞い申し上げます。11月には第30回国民文化祭かごしま２０１５が開幕し、伊佐市では、いさ演劇祭として榎木孝明氏の講演会や『紙屋悦子の青春』、『カンヅメ少年と「いざ！」いさ宝さがしの旅』が上演され観衆を魅了しました。

伊佐市議会としましては、3月に伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略等調査特別委員会を立ち上げ、総合戦略の基本となるデータから調査を始め、鹿児島県工業技術センターや鹿児島県大隅食品加工センターを訪問し、工業技術と食品加工技術を地域創生にどのように活かすか研修しております。また、議会意見交換会を8月に市民向け6会場、団体向け4団体と行いました。まだまだ参加者が少ないため、開催の方法等を検討し、開かれた議会を目指してまいりますとともに、その中で出た意見等を検討しながら、いろいろな政策提言及び議会改革を迅速果断に行っていきたいと思います。

さて、本年11月には伊佐市市長選挙、市議会議員選挙が行われます。今回から有権者は18歳以上となりますので、投票率や政治への無関心化など心配な点もありますが、若い人の意見をどのように取り上げ政策に結び付けて行くかが課題になります。若い人の意見を反映し何事にもチャレンジできるように大所高所から議論してまいります。

結びに、今後とも皆様方の一層のご指導、ご協力を賜りますようお願いし、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

## 自宅等で不在者投票ができる「郵便等投票」

■この不在者投票をするには「郵便等投票証明書」の交付申請が必要です。

対象者　手帳等を持ち、次の表に該当する人

投票できる期間

選挙の公示（告示）日の翌日～投票日の前日

| 手帳等の種類 | 障がい名（障がいの程度） |
|---|---|
| 身体障害者手帳 | 両下肢、体幹、移動機能の障がい（1級または2級） |
| | 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障がい（1級または3級） |
| | 免疫、肝臓の障がい（1級～3級） |
| 戦傷病者手帳 | 両下肢、体幹の障がい（特別項症～第2項症） |
| | 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障がい（特別項症～第3項症） |
| 介護保険被保険者証 | 要介護状態区分（要介護5） |

■上記の対象者のうち次に該当する人は、代理人が投票の記載をすることができます。

| 手帳等の種類 | 障がい名（障がいの程度） |
|---|---|
| 身体障害者手帳 | 上肢、視覚の障がい（1級） |
| 戦傷病者手帳 | 上肢、視覚の障がい（特別項症～第2項症） |

問い合わせ先　市民課選挙係　☎㉓１３１１

## 冬の風物詩「氷の祭典」が変わります

### アイスカービングから「アイスワールド in 伊佐」

2015年1月に第20回を迎えた「アイスカービング」は実行委員会が解散しイベントは終了しました。

しかし、長年愛されてきた氷の祭典を継続し先輩たちの思いを次代に繋げたいと、若い世代が新たな実行委員会を立ち上げました。

### 第1回「アイスワールド in 伊佐」

期　日　2月13日（土）

会　場　大口ふれあいセンター前広場

内　容

これまでのような氷像を制作展示するのではなく、例えば ①氷と光の演出 ②氷のステージで音楽やダンス など、地元の高校生やアーティストなどとの共同企画を計画中。

※詳しくは「広報いさ」１月15日号でお知らせします。

問い合わせ先

アイスワールド実行委員会事務局（伊佐市観光特産協会内）　☎㉘２６００

広報紙をもっと身近に　i 広報紙

▼統一QRコード

■詳しくは「i 広報紙 http://ikouhoushi.jp/」をご覧ください